更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：有限会社髙野商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営者は従業員に対して会社のあるべき姿を説明し、共有している。 従業員は自らの使命を理解し、やりがいを感じている。 会社のあるべき姿の実現に向け、新しい事業に挑戦する文化が形成されている。 月1回の社内会議を開催し、経営者自ら説明し実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		当社の主な業務が許認可を必要とする事業でもあり、コンプライアンス（法令や倫理の遵守）の重要性をミーティング時に発信し、社内共有化している。 月1回の社内会議を開催し、経営者自ら説明し、法令遵守の徹底を図る。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		一般的なルールである不正競争防止法を会社として遵守し、ミーティング時に従業員に対し、その重要性を発信している。 月1回の社内会議を開催し、経営者自ら説明し、不正競争行為に関与しない体制を整備している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		本社、事業所間において、事業活動が社会、環境に及ぼす正と負の影響を把握し、社長をトップとする連絡網を構築している。 髙野誠二（代表取締役） ⇄髙野多美子（取締役）⇄ 髙野直人（本社管理部）																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産の重要性の高まりを受け、他社の知的財産に係る権利を尊重しつつ、自社の業務の中でどのように取扱うべきかを、従業員と共に知的財産ハンドブックをもとに研修を行っている。 月1回の社内会議を開催し、経営者自ら説明し、知的財産権の侵害を行わないようにしている。（特に顧客の新規獲得や切替の際）								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報への不正アクセス、漏えい、滅失などのリスク対策を施すと共に、個人情報の適正な取扱いの確保のため、社内にて意思疎通を徹底している。 月1回の社内会議を開催し、経営者自ら説明し、徹底を図るとともに、PCセキュリティー対策契約をしている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		主な取引先である小国町・南小国町内の一般家庭や事業者であるステークホルダーの皆様へ、マイナスの影響を最小化し、プラスの影響を最大化できるよう、日頃から役員及び従業員による会話やお知らせチラシによるコミュニケーションに努め、適切な事業活動と意思決定を行っている。 定期的に顧客先を巡回する際に特に口頭による双方向コミュニケーションに努め、地域住民の安否確認や定住促進に繋がる情報等があれば、行政機関へ連絡するようにしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	既に後継者を確保し、将来に向けた承継のための事業活動面（業務の指導・育成）及び事業運営面（株式譲渡の検討）に取り組んでいる。 三女の夫を婿養子に迎え、後継者育成に既に取り組んでいる。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、教育、昇進、福利厚生など雇用条件、職場環境において、性別、年齢、学歴、障がい、宗教、国籍等を理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施し、事業運営を行っている。 月1回の社内会議を開催し、経営者自ら説明し、差別やハラスメントを防止する体制・運営に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		従業員の安全を確保すると共に、業務の円滑な運営を図ることは、何よりも最優先させる課題であるとの認識のもとに、年1回の健康診断による健康管理と労働災害安全衛生会議を年2回実施し労働災害の防止に取り組んでいる。 年1回の健康診断と年2回の労働災害安全衛生会議を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		「職務の内容」（業務内容や責任の程度）の違いによって賃金の待遇について、正社員とパート社員に違いがあるが、雇用形態が異なることだけで差がつくことはない。 福利厚生は同一である。 従業員（正社員とパート社員）の公正な賃金待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		業務効率化による労働時間の短縮及び業務の互換性を高め、有給休暇等が取得しやすい体制を構築し、家事・育児、ボランティア活動へ参加しやすい環境を整えている。 特に業務の互換性を高め、だれが休暇を取得しても業務に支障がないように、取得しやすい環境整備に取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		お客様の多様化するニーズに応えるため、会社の経費負担により、外部研修費用の支給や各種資格取得費用の支給を積極的に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		ミーティング時に交通事故の注意喚起や健康増進への取り組みの促進を行い、健康診断、インフルエンザ予防接種の経費全額補助を行って福利厚生制度の充実に取り組んでいる。 月1回の社内会議時、経営者自ら注意喚起を行い、年1回の受診を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		産育休からの職場復帰がしやすい職場づくりに取り組んでいる。 ⇒2023年度産育休を利用したものが1名 業務運営や給与等に、人種・差別等の違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：有限会社髙野商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		当社は、環境インフラ系の業務を主たる業務として行っており、一般・産業廃棄物及びし尿の数量を把握し適切な管理及び処理に取り組んでいる。 【予定】エコアクション21を2025年12月までに認定取得する。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		事業所内の電気は、全てLEDを使用し、営業車については、エコカーを使用している。 【予定】電力、水道、燃料使用量等の把握をし、エネルギー削減へ繋がるエコアクション21を2025年12月までに認定取得する。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		事業所で使用する車両7台は、排ガス規制に則ったものを使用して、排ガス削減に取り組んでいる。 営業車両1台は、エコカーを使用している。 【予定】電力、水道、燃料使用量等の把握をし、CO2削減へ繋がるエコアクション21を2025年12月までに認定取得する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業や従業員の活動において、廃棄物量の把握をした上で、削減に努め、環境に配慮した材、製品を使用して生物多様性保全に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		再生用紙や裏紙の利用を実施している。 工場（処分場）においても資源利用の削減や再利用を実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内掲示等により節水や汚水等の適切な処理を実施している。 事業所内にある井戸水を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		再生用紙利用を実施している。 グリーン購入法適合商品の使用拡大に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	太陽光パネルや蓄電池を設置しオフィスの節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：有限会社髙野商会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		提供するサービス（浄化槽の定期保守点検）の質を確保するため、巡回時の口頭による意見等や廃棄物の処理の際に発行するマニフェストを関係者で共有化し活用・品質確保する取組を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		2022年度から事務所内外で使用する事務文具用品等をユニバーサルデザイン化されたものに随時切り替えている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対し、居住する地域の活動に参加するよう奨励している。 地域事業者として、地域の防災活動及び自治会活動に参加している。 地域が抱える課題解決のため、行政機関へ寄付を行っている。 事業場に地域住民がいつでも廃棄物（廃プラスティック類、ダンボール類の紙くず）を持ち込めるように開放している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業所において、防災備蓄及び防災グッズを常備している。 従業員に社内会議で地域のハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域事業者として、自社を避難所として開放している。 地域防災の担い手として、該当する従業員は地域の消防団へ加入している。 【予定】2025年12月までにAED（自動体外式除細動器）を設置する。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内でSDGsに関する研修を実施し、役職員間でのSDGsへの意識が浸透しつつある。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	中学生や高校生のインターンシップを受け入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元定住化を促進するために卒業予定者、定住者を積極的に雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。